あんしん Vol 402

2022年（令和4年）
8月20日 第402号

発行 株式会社 安藤プロパン
〒955-0095
三条市代官島川原271
TEL. 34-7656(代)
FAX. 35-6326

あんしん取材班が行く

〈三条市下田〉

嵐渓荘の源泉を使ったスープベース 元祖”山塩ラーメン“ 食堂 八木茶屋（やぎぢゃや）を訪ねて

三条市下田エリアのシンボル”八木ヶ鼻“は三条市を流れる五十嵐川上流にそそり立ち高さは200メートル以上の石英粗面岩の壁。ハヤブサ繁殖地として県の天然記念物に指定され、自然の恵みを一身に受け、春は淡く、夏は強く、秋は艶やかに、冬はしっとりと季節の度に塗り替えられる絵画のように訪れる人の目を楽しませてくれる。その素晴らしい景観から新潟県景勝100選に選ばれている。

その八木ヶ鼻の麓に「八木茶屋」がある。8月9日(火)午後2時に伺った。店主の内藤弘一さん(54)が満面の笑顔で迎えてくれた。今回の取材の目玉「山塩ラーメン」と噂の「ピネライス」を注文した。内藤さんは大きな「健康にいい玉子焼」を取材班が来るというので焼いて下さっていた。赤卵10コを用いて丁寧に焼き上げる。これも八木茶屋の名物となっている。(1,000円)

「山塩ラーメン」誕生について内藤さんは『PTAの役員の宴会が“越後長野温泉嵐渓荘”であった時にウェルカムドリンクが嵐渓荘に湧き出ている温泉を使ったほうじ茶だったのです。2003年の夏頃、新しいラーメンメニューを考えていきしてね、これだ！と思い、先代社長に頼み込んで塩分の※効いた温泉を分けてもらうことになりました』。市販の塩は一切使わず、塩分の強い温泉と豚骨、鳥ガラ、鯛のカブト、カリカリに焼いた玉ねぎ、しょうがを入れて7時間かけて塩ダレを作った。スープはとてもまろやかな塩味というか、まさにオリジナル温泉スープ・麺はクロレラ麺、チャーシュー・メンマ・ゆで卵子、のりが入っている。(800円)

「ピネライス」はお客さんのリクエストから生まれた。チャーハンも食べたい、カツカレーも食べたいを一つにまとめた。ピネとはフランス語で「カツレツ」のこと。カレーも板前手作りで丁寧に調理されている。女性客が山塩ラーメンとピネライスを注文して皆でワイワイ食べるのが八木茶屋スタイル！

内藤弘一さんは高校を卒業後、三条市の割烹川波で4年間修業を積んだ。川波時代店の仲居さんをしていた明美さんと結婚し、現在は夫婦二人で八木茶屋を営んでいる。二〇〇一年(平成十三年)に日帰り温泉”いい湯らてい“ができてから宴会もなくなり、夜も営業していたが、次第に客足は遠のき、現在は昼のみの営業。テレビ・雑誌等の取材で脚光を浴び県内外からの来客が訪ずれる。店内には芸能人・著名人と内藤さんとの写真が貼られてある。

内藤さんは『昔この近くに軍事工場がありましてね、そこに祖父が村上市から来て、八木茶屋を開きました。祖父は大相撲が大好きで、とても豪快な性格で交友関係も広く、昭和26年から28年の夏、地方巡業”下田場所“を興業していました』八木茶屋の2階が力士たちの寝床になっていたといわれる。

創業して80年の昭和ノスタルジック漂よう店内はどことなく心落ち着く空間となっている。健康にいい玉子焼は割烹川波で会得した。どっしりとした存在感と割烹の上品な逸品となっており人気商品。

おしながきには麺類、ご飯類、定食、一品料理、お飲物食堂ならではの品数。ホワイトカレーラーメン(1,800円)も食してみたい逸品。

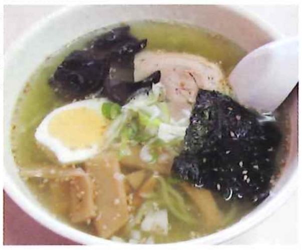
内藤さんは来店されるお客さんとのコミュニケーションも大切にしている。次々に色んなお話をして下さり、笑顔で情熱的だ。内藤さんの人柄も味の一つとなっている。

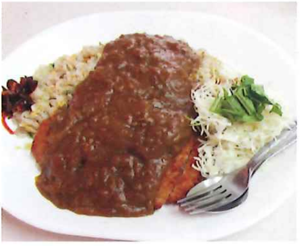
※ 嵐渓荘に湧き出ている源泉

▶八木ヶ鼻

▶八木茶屋(外観)

▶店主:内藤弘一さんと奥さん

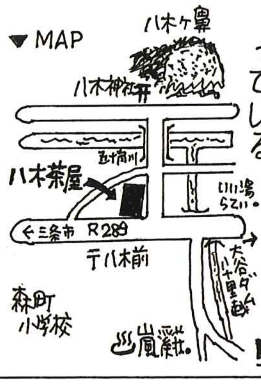

▶山塩ラーメン


▶ピネライス

▶健康にいい玉子焼

▶嵐渓荘

▼MAP



▶八木茶屋 〒955-0132 三条市長野341-4 TEL:0256-47-2017 ▶11:30～14:30 ▶月曜定休日

インフレは国家を亡ぼす！が進行中

社長：安藤幸広

2022年8月12日の国際ニュースで南米のアルゼンチン中央銀行は政策金利を9・5%引上げて69・5%に設定しインフレ加速に対応するための措置としたが、アルゼンチンが猛烈なインフレになっているとは知らなかった。実はこのニュースは衝撃的であった。1ヵ月間で2回もの利上げ実施の発表。併せて消費者物価指数CPIは前年7月比で71%も上昇と。猛烈にモノの値上がりが進むインフレが起きている。当局の説明として米国が自国のインフレ対策でたびたびの利上げしており、その影響で自国通貨アルゼンチンペソが下落し輸入品価格が押し上げられた事による。

そこで今回は社会生活に多大な悪影響を及ぼすインフレについて考えてみたい。まず統計が取れる世界191カ国中の2021年12月末現在の年率インフレ上位10ケ国から。

第1位・中南米のベネズエラ1,588%（政策金利56%、国は破綻状態、産油国）。

第2位、アフリカのスーダン359%（金利24%、国は破綻状態）。

第3位、アフリカのジンバブエ98%（金利200%、国は破綻状態）。

第4位、中東イエメン63%（金利27%、国は内乱状態）。

第5位、中南米スリナム59%（金利10%国の状況は不明）。

第6位、中南米アルゼンチン48%（金利69・5%、猛烈なインフレに直面している）。

第7位、中東イラン40%（金利18%、米国の経済制裁が強く影響）。

第8位、アフリカのエチオピア27%（政党間対立が深刻）。

第9位、アフリカのアンゴラ26%（金利20%、不明）。

第10位、アフリカのザンビア21%（金利9%、不明）。ちなみに、ロシアは7%（金利8%）。トルコ20%（金利14%）。ウクライナ22%（金利25%）。日本2.1%（金利（マイナス）0.1%）となっている。また3年間累積100%以上のインフレを「ハイパーインフレ」と言うが、少なくとも第7位の中東のイランまではハイパーインフレが起きている。インフレとはモノの値段が上がり続ける事＝お金の価値が下がり続けること。例えば前年7月に100円で買えたジュースが今年7月に2倍の200円になった＝お金が2倍必要となった＝お金の価値が2分の1になったになる＝インフレ率100%となる。インフレが起きる過程ではドルに対して自国通貨安となる傾向が強いが、インフレ率の高い国の通貨価値はドルに対して通貨安も起きている事になる。従って貿易決済用のドル資産を持っていないと輸入品が買えなくなるか買える量が減る。自国生産品がなく輸入に頼っていた商品は更に更に上がる事になりやすい。日本はエネルギー（原油・石炭・LNG・LPG等）の90%以上と穀物等食料自給率は39%に留まっており、これから更に電力電気料金と食料品値上がりが顕著になりそうである。

IMF（国際通貨基金）の発表では既に世界中で47ケ国が猛烈なインフレで国家が破綻状態か今後破綻するだろうとのコメントを発表している。

国家破綻すると次の事が起きる。まず無政府状況（税収激減・政権崩壊や放棄・暴動など治安悪化・食料争奪危機・公共インフラ破綻（燃料調達難で鉄道やトラック輸送による物資輸送停止・通信郵便停止・電力・ガス上下水道の大規模停止・銀行閉鎖・学校閉鎖・職場閉鎖及び給与所得消滅・移民の大量発生）。国家破綻すると以上の事が全てほぼ同時に起きている。

またロシアプーチン大統領がウクライナ侵攻を命じて早や6カ月経過。戦況はともかく世界中で間違いなくエネルギー高騰と食料品の値上がりが起きているし半導体不足も起き、あらゆる製品に納期遅れや生産供給計画未達などが起きている。民間公共問わずどの組織においても毎月発生する固定費支払いが重くのしかかっている。

第一弾の新型コロナ、第二弾のウクライナ侵攻、第三弾は現在進行中の米国の利上げ。米国が利上げするたびに先進国・新興国・後進国問わず通貨安やインフレ率が上昇し窮地に陥る国々が増えて行く。そして第四弾は中国による台湾侵攻があるのかどうか。ウクライナ侵攻でのプーチン大統領の失敗を勉強材料として48時間以内で台湾全土を制覇する作戦を立案中とも報道されている。中国では不動産バブルも崩壊、地方金融機関の破綻・若年層の就職難・海外からの受注生産が激減も起きている。中国要因も含め猛烈なインフレ的要因は尽きない。経済安定化には様々な分野の国内需要に合わせて様々な分野の国内供給が品種も生産数量も均衡する仕組みが肝心と思うが、世界至るところで常に不均衡が存在している。解決の方策は思いつかず、まだまだ不安は尽きない日々が続く。（次回に続く）

▼ジンバブエ 100兆円ドル札（1枚）の写真

100000000000000 RESERVE BANK OF ZIMBABWE
100000000000000
ONE HUNDRED TRILLION DOLLARS
100 000 000 000 000
GOLD 999999

今月のクイズ

Q：□の中には何が入るでしょうか？

しんでのぱおさぬのやこげ
□ねねんい っんきたまつん

Vol400のクイズの答：

床に置いたコップが割れやすい。（※床に置いたコップは床からの力も受けるから割れやすい。〈作成反作用〉）

※坂上三代司さんの解答

当選者

▼田辺タイ子さん（三条市）
▼池田正行さん（田上町）
▼石山岳穂さん（加茂市）
▼坂上三代司さん（加茂市）

63
〒955-0095
三条市代官島
川原2771
㈱安藤プロペン
あんどんクイズ係

（ウラ）・クイズの答
・氏名・住所
・年令・おつとめ先
・メッセージ
〆切10月10日

（編集部より）
創刊400号のお祝いメッセージを沢山お寄せ頂き誠にありがとうございます。